

エピソード

アイドルが好きな A ちゃんをきっかけに衣装や髪飾り、マイクをつくってアイドルごっこを楽しんでいました。「もっとお客さんにきてほしい」という思いから B くんが「チケットをつくって配ろう」と言うと「いいねそうしよう」と周りの友達も賛成しました。どんなチケットをつくるかの話し合いでは「いつからするか書かないといけないよ」「給食を食べた後にしようよ」「どこでやるかも書かないとお客さんが迷子になっちゃう」「そら組でしますって書いた方がいいね」と、時間と場所を書くことが決まりました。出来上がったチケットをみかん組、いちご組、たんぽぽ組、さくら組、にじ組へと届け、「今日の1時に来てください」と招待しました。

1時になると、たくさんのお客さんが来てくれました。好きなアイドルの曲に合わせてスタンドマイクで歌ったり、自分なりに踊ったりしました。Bくんはステージを飛び出して、席で見ているお客さん一人一人とハイタッチをする姿が見られ、最後には見ていた子たちも一緒に踊ることを楽しみました。

終演してからは「笑ってくれてた」「楽しそうにして嬉しかった」と喜び、「次は踊る人だけ明るくなるやつ（スポットライト）がほしい」「光って応援するやつ（ペンライト）が作りたい」「四角の小さい紙をパラパラさせたい（紙吹雪）」と、より本物のステージに近付けようと思いを巡らせていました。

子どもの育ちや学び

「あいどる」ってどう
かくだろう
(文字への興味)



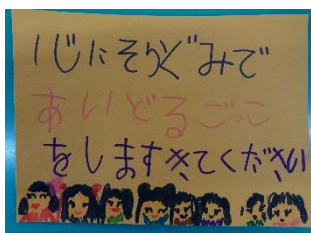
1じにそらぐみにきてください
(願望・期待・ワクワク)

♪かわいいだけじゃダメですか～
(楽しい・嬉しい・興奮)



- ・お客さんを招待するチケットに必要な情報を考え、友達と意見を出し合う。
- ・相手に伝えたいという気持ちから文字に興味をもち、見本を見ながらひらがなをかく。
- ・各クラスを回ってチケットを渡し、アイドルごっこに来てほしい思いを言葉で伝える。

- ・たくさんのお客さんが座れるように椅子やゴザを並べ、自分達で会場の用意をする。
- ・見てもらうことを喜び、好きな曲に合わせて踊ったり歌ったりし自分なりの表現を楽しむ。



アイドルごっこが始まる
時間や場所をかき、チケ
ットをつくって渡す



スズランテープを三つ編
みにし、ゴムに引っ掛け
て髪飾りにする



スタンドマイクの先は球体のカ
プセルを付け、取れやすいので
強いガムテープで接着する



客席をまわり、一人一人と握
手をしてファンサービスをす
る

- ・これまでの生活経験からイメージする「本物のアイドル」に向かって、こだわりをもってつくったり、客席をまわったりする。

保育者の思い

- ・客席で見ることや会場の準備をすることでアイドルごっこに参加している子もいます。ステージで踊ってなくてもその子なりのやり方で一緒に楽しんでいる姿を大切にしたいです。
- ・Bくんはどうして客席をまわっていったんだろうと不思議に思い、保護者の方に聞いてみました。以前ウルトラマンのショーに行った時に見たと教えていただき、生活経験と遊びのつながりを感じました。
- ・思いが実現するとまた次の「こうしたい」が出てくる、本物を求める子ども達に合わせて、道具や場を整えていきたいと思っています。

家庭だったら・・・

5歳児になり、生活の様々な場面で「○○だからこうしたい」という理由やこだわりをもって行動する姿が多く見られるようになってきました。子どもがしている行為に「どうしてそうしようと思ったの?」と問いかけてみると、子どもなりの考えや面白いこだわりが聞けるかもしれませんね。